
赤 潮 情 報 (定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
平成 18 年 8 月 9 日

八 代 海 No.4

[1] 8月8日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点で赤潮による着色域は確認されませんでした。

有害種については、シャトネラ マリーナが八代海南部中央にて1細胞/ml確認され、また、コックロディニウム ポリクリコイデスを伊唐島東沖、桂島東沖においてそれぞれ2細胞/ml確認しました。

(2) 海 況

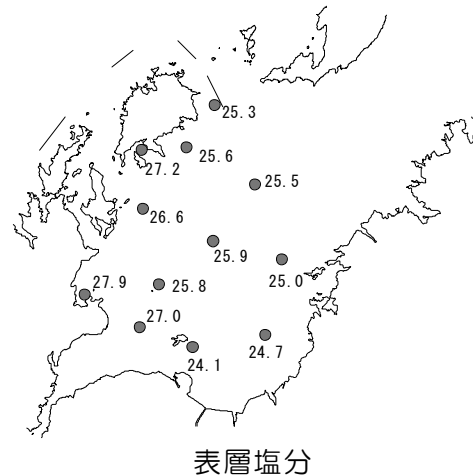
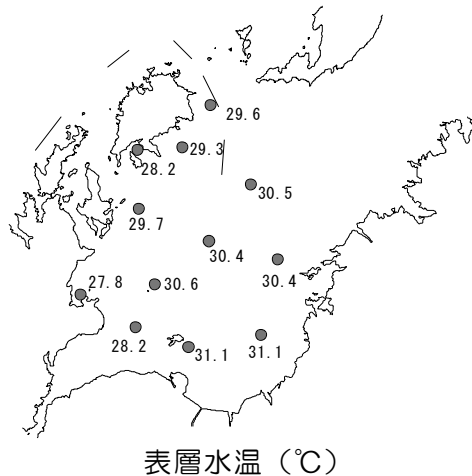
表層水温は八代海全域で27.1～31.1℃で同年同時期より高め、塩分は24.1～27.9で同年同時期よりかなり低め、透明度は同年同時期並となっています。

水 温 (表層): 平均 29.7℃ (27.4℃)
塩 分 (表層): 平均 25.9 (31.6)
透明度 : 平均 7.8m (8.0m)

()はH元～H17年8月の平均値 (同平年値)

[2] 今後の赤潮発生の予想

数カ所の調査点で有害種が確認されていますが、現時点では細胞数が少なく、珪藻類が多い状況ですので、今後しばらくの間は、有害種による赤潮形成の可能性は低いと考えられます。(次回調査は8/17を予定)



	(7/26豪雨直後)	(8/8今回)
塩分平均	表層: 18.9	→ 29.7
	5m層: 28.2	→ 29.6
	10m層: 30.2	→ 30.4

赤潮情報 (携帯用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑 (パソコン用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>